

試料・情報利用研究計画書(概要)				
審査委員会 受付番号	2022-2011	利用形態	内部研究	
研究題目	クラスター分類とGWAS解析による多因子疾患に関連する遺伝要因の検討		研究期間	2023年2月～2027年3月
代表研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	責任者 氏名・職	栗山 進一	教授
分担研究機関	—	責任者 氏名・職	—	—
研究目的と意義	多因子疾患に該当するの対象者さんを多因子疾患の表現型と環境要因別に分類したうえで解析を行い、多因子疾患の特性に応じた関連遺伝子を同定することを目的としています。多因子疾患とは多数の遺伝子が作用し、さらに生活習慣などの環境要因が加わって起こる病気のことをいいます。			
研究計画概要	本研究では地域住民コホート調査に参加している対象者さん約80,000人と三世代コホート調査の参加している対象者さん約70,000人を研究の対象とします。対象者さんのうち、多因子疾患に該当する対象者さんを調査票(健康・生活習慣・食習慣等)や血液検査から得られた情報を用いて多因子疾患の特性ごとに分類したうえでゲノムワイド関連解析(GWAS)を実施します。GWASとは、病気と関連のある遺伝子を網羅的に探索する解析手法です。本研究ではこれまで提供いただいたゲノムデータ(SNPアレイデータ)を用いてGWASを実施します。			
利用試料・情報	対象:コホート調査参加者 全員 試料:なし 情報:基本情報、調査票情報、検体検査情報、生理機能検査情報、カルテ情報、公的情報(死亡個票情報・循環器疾患情報・学校健診情報・乳幼児健診情報・母子健康手帳情報等)、SNPアレイ情報、			
期待される成果	多数の環境や遺伝子が原因として起こる多因子疾患の医学的根拠を明らかにすることで、悪化してからの医療機関受診に頼らない、よりよい予防医学・健康科学への貢献が期待されます。			
倫理審査等の経過	2023年2月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認			
倫理面、セキュリティ面の配慮	人を対象とする生命科学・医学系研究を遵守して研究を実施します。利用する情報は、東北メディカル・メガバンク機構が定めるセキュリティポリシーに従い、あらかじめ定められた研究者のみがアクセス可能な環境で利用します。 本研究は、UKBiobankからデータ提供を受けて行するため、UKBiobankへ研究結果を報告しますが、この中に個人ごとのデータは含まれません。			
その他特記事項	東北メディカル・メガバンク事業			
(事務局使用欄)	*公開日 令和5年3月31日			